

地域おこし協力隊からの報告

白ネギ



くによしみつき  
國吉美貴さん

「自分で野菜を作って、お金にかえて生活していけるのはカッコいいと思っていいます。春には、荘田の空き家に転居する予定で、今年から運動会など地域の活動にも参加し、地域の方とのつながりもできました。田畑を守ること、景観・景色を守っていきける農家になれるようにがんばっていききたいです。」

担当マイスター

入江栄さん

「研修2年目なので、段取りから自分でさせていきます。農業するには住宅の確保が欠かせませんが、探すのはとても大変でした。」

ブロッコリー



おおにしりょうや  
大西稜也さん

「いい年もあれば、悪い年もある。今年は台風の被害が大きかったので勉強になる年でした。1年目に「なぜ？」と分からなかったことが分かるようになってきました。町営住宅から東高田の空き家に移りました。これからは集落づきあいもして、田畑もしっかり管理していききたいと思っています。」

担当マイスター

中原潤一郎さん

「今年は研修にはよい年でした。研修に向かう姿勢はともよいです。目標をしっかりと持って、地域のこともしていつてもらいたいです。」

梨



たなかみなこ  
田中未菜子さん

「梨の実だけを見るのではなく、枝や葉などまわりも見えないと良い梨はできないということが分かりました。梨づくりについて人に伝えることで、自分が理解できていること、いないことが分かるという経験もしました。ほ場は、長い間作れるところをあせらず探していききたいと考えています。」

担当マイスター

米澤誠一さん

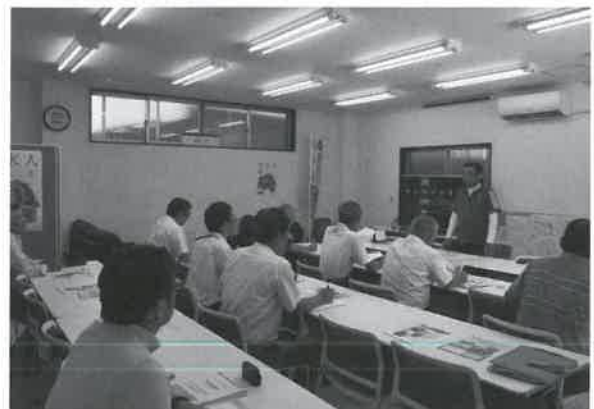
「1年かけて、一通りの作業は研修しました。今年は剪定を指導します。就農後も、長い目で見ていかなければいけないと思っています。」

地域おこし協力隊の師匠「大山町アグリマイスター」とは？

アグリマイスターは、大山町の主要農産物である梨、白ネギ、ブロッコリーの持続的な生産体制の構築を目指して、後継者育成に意欲があり、極めて優れた技術・技能を発揮しているとして町長が認めた方。平成26年10月に15名（梨5名、白ネギ4名、ブロッコリー6名）がアグリマイスターとして認定され、新しく農業を志す者に、現地研修の場を提供し、技術及び経営の習得など知識と経験を伝え指導する“師匠”として活躍中です。

自身の資質の向上と、後進の指導による人材育成を通して、大山町の基幹産業である農業の活性化のために、自信と誇りを持って、活動しています。

今年7月には、研修生受け入れの先進地である香川県に視察研修に行き、法人化して地域の担い手を育成している例や、協同組合を作って就農や独立の支援をしている例などを学びました。参加したマイスターからは「とてもよい研修だった。大山町に生かせる点はどんどん取り入れていきたい」と前向きな感想が多く聞かれました。



▲香川県観音寺市での視察研修の様子